

令和7年11月20日に開催された「令和7年度第4回水道事業及び簡易水道事業並びに工業用水道事業運営委員会」において配布された資料をそのまま公開しています。

本資料に記載されている水道料金改定率や料金表は、議事の中で修正提案がなされており、最終の「意見書」の内容とは異なる点がありますので、ご留意ください。

水道料金の見直しについて(3)

令和7年11月20日
霧島市上下水道部



すいどん
(霧島市上下水道部マスコットキャラクター)

1. 水道料金の仕組み
2. 水道料金の見直し
3. 水道利用者への広報・広聴のあり方

1. 水道料金の仕組み



1. 水道料金の仕組み

① 検針からお支払いまで

- ・ 毎月2日から20日までの間に、月に1度、検針にお伺いしています。
- ・ 検針票には、お客さまの水道メーターの口径や、その月の使用水量が記されています。

② 改定前の料金表

- ・ 霧島市では平成22年度から令和7年度(現在)まで、同じ料金表を用いています。
- ・ 基本料金はメーター口径ごとに、従量料金は使用水量ごとに、それぞれ定められています。



1. 水道料金の仕組み ① 検針からお支払いまで

毎月2日から20日までの間に、月に1度、検針にお伺いしています。



(参考) 検針票の読み方

検針票には、口径や使用水量などを掲載しております。

水道・下水道使用料等のお知らせ

いつもご利用いただきありがとうございます。

令和 7年11月検針分 検針員 ○○

霧島 花子 様
霧島市国分中央三丁目45番1号

お客様番号		1000000001-001	
用途 一般	口径 ① 13mm	区分 上水道	メーター番号 123456789
前回検針日 令和7年10月5日	今回検針日 令和7年11月5日	振替予定日 令和7年12月25日	
① 今回検針		1,128 m ³	
② 前回検針		1,100 m ³	
③ 取替水量		0 m ³	
④ 子水量		0 m ³	
ご使用水量①-②+③±④		28 m ³	
水道料金		(323 円)	
28 m ³		3,553 円	
下水道使用料		(— 円)	
— m ³		— 円	
請求予定額合計		3,553 円	

() 内は消費税相当額10%です。

※ 必ずお支払いください。

※ 必ずお支払いください。

① メーターの口径

取り付けている水道メーターの大きさです。

(例) 霧島花子さんの場合は、口径13mmのメーターを使用しています。

13 mm	20	25	30	40	50	75	100	150	200
-------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



②

② 使用水量

水道メーター写真 © 愛知時計電機株式会社 <https://www.aichitokei.co.jp/>

使用水量は、前回の検針日から今回の検針日までに使用した水量です。

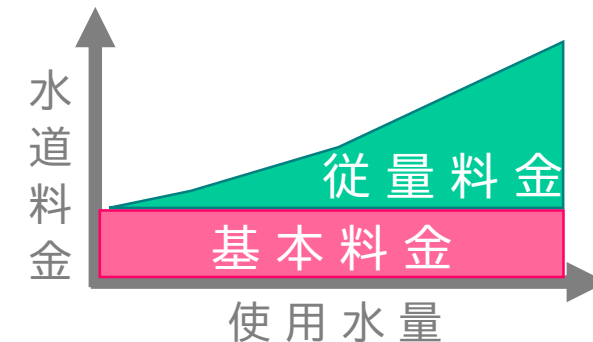
(例) 霧島花子さんの場合は、

$1,128\text{m}^3 - 1,100\text{m}^3 = 28\text{m}^3$ の水量を使用しています。

1. 水道料金の仕組み ② 改定前の水道料金

霧島市では平成22年度から令和7年度(現在)まで、同じ料金表を用いています。

- 「基本料金」は、口径ごとに決められています。
- 「従量料金」は、使用水量により、三段階に分かれています。
- 基本料金と従量料金を足して、消費税を加算して、水道料金を算出しています。



基本料金(現行・改定前)

(税抜き)

口径	13 mm	20	25	30	40	50	75	100	150	200
基本料金	円 490	890	1,300	1,920	3,260	5,400	12,100	21,510	50,030	97,120

従量料金(現行・改定前)

(税抜き)

使用水量	1m ³ から10m ³ まで	11m ³ から30m ³ まで	30m ³ を超える部分
従量料金(1m ³ につき)	円 85	105	110

(参考) 水道料金の計算例

口径 13mm 使用水量 28m³ の場合の水道料金を計算します。

水道・下水道使用料等のお知らせ

いつもご利用いただきありがとうございます。

令和 7年11月検針分

検針員 ○○

霧島 花子 様

霧島市国分中央三丁目4 5 番 1 号

お客様番号		1000000001-001	
用途 一般	口径 ① 13mm	区分 上水道	メーター番号 123456789
前回検針日 令和7年10月5日	今回検針日 令和7年11月5日	振替予定日 令和7年12月25日	
① 今回検針		1,100 m ³	
② 前回検針		1,128 m ³	
③ 取替水量		0 m ³	
④ 子水量		0 m ³	
ご使用水量①-②+③±④		28 m ³	
水道料金		(323 円)	
28 m ³		3,553 円	
下水道使用料		(— 円)	
— m ³		— 円	
請求予定額合計		3,553 円	

() 内は消費税相当額10%です。

※ 必ずお支払いください。

※ 必ずお支払いください。

基本料金(現行・改定前)

① → 口径 13 mm

(税抜き)

口径	13 mm	20	25	30	40	50	75	100	150	200
基本料金	円 490	890	1,300	1,920	3,260	5,400	12,100	21,510	50,030	97,120

従量料金(現行・改定前)

② → 使用水量 28 m³

(税抜き)

使用水量	1m ³ から10m ³ までの部分	11m ³ から30m ³ までの部分	30m ³ を超える部分
従量料金(1m ³ につき)	円 85	105	110

② 【例】

③

基本料金

= 490円

従量料金「1m³から10m³までの部分」= 85円/m³ × 10m³ = 850円

従量料金「11m³から30m³までの部分」= 105円/m³ × 18m³ = 1,890円

合計 490円 + 850円 + 1,890円 = 3,230円(税抜き) → 3,553円(税込み)

③ と一致します。 8

(参考) 水道料金早見表

霧島市ホームページに「水道料金早見表」を掲載しています。

- 口径と使用水量が分かれば、一目で水道料金が分かります。

【消費税率10%】

(1) 口径13mm～30mm

口径 水量	13mm	20mm	25mm	30mm
0m ³	539	979	1,430	2,112
1m ³	632	1,072	1,523	2,205
2m ³	726	1,166	1,617	2,299
3m ³	819	1,259	1,710	2,392
4m ³	913	1,353	1,804	2,486
5m ³	1,006	1,446	1,897	2,579
6m ³	1,100	1,540	1,991	2,673
7m ³	1,193	1,633	2,084	2,766
8m ³	1,287	1,727	2,178	2,860
9m ³	1,380	1,820	2,271	2,953
10m ³	1,474	1,914	2,365	3,047
11m ³	1,589	2,029	2,480	3,162
12m ³	1,705	2,145	2,596	3,278
13m ³	1,820	2,260	2,711	3,393
14m ³	1,936	2,376	2,827	3,509
15m ³	2,051	2,491	2,942	3,624
16m ³	2,167	2,607	3,058	3,740
17m ³	2,282	2,722	3,173	3,855
18m ³	2,398	2,838	3,289	3,971
19m ³	2,513	2,953	3,404	4,086
20m ³	2,629	3,069	3,520	4,202
21m ³	2,744	3,184	3,635	4,317
22m ³	2,860	3,300	3,751	4,433
23m ³	2,975	3,415	3,866	4,548
24m ³	3,091	3,531	3,982	4,664
25m ³	3,206	3,646	4,097	4,779
26m ³	3,322	3,762	4,213	4,895
27m ³	3,437	3,877	4,328	5,010
28m ³	3,553	3,993	4,444	5,126
29m ³	3,668	4,108	4,559	5,241

(円:税込)

口径 水量	13mm	20mm	25mm	30mm
51m ³	6,325	6,765	7,216	7,898
52m ³	6,446	6,886	7,337	8,019
53m ³	6,567	7,007	7,458	8,140
54m ³	6,688	7,128	7,579	8,261
55m ³	6,809	7,249	7,700	8,382
56m ³	6,930	7,370	7,821	8,503
57m ³	7,051	7,491	7,942	8,624
58m ³	7,172	7,612	8,063	8,745
59m ³	7,293	7,733	8,184	8,866
60m ³	7,414	7,854	8,305	8,987
61m ³	7,535	7,975	8,426	9,108
62m ³	7,656	8,096	8,547	9,229
63m ³	7,777	8,217	8,668	9,350
64m ³	7,898	8,338	8,789	9,471
65m ³	8,019	8,459	8,910	9,592
66m ³	8,140	8,580	9,031	9,713
67m ³	8,261	8,701	9,152	9,834
68m ³	8,382	8,822	9,273	9,955
69m ³	8,503	8,943	9,394	10,076
70m ³	8,624	9,064	9,515	10,197
71m ³	8,745	9,185	9,636	10,318
72m ³	8,866	9,306	9,757	10,439
73m ³	8,987	9,427	9,878	10,560
74m ³	9,108	9,548	9,999	10,681
75m ³	9,229	9,669	10,120	10,802
76m ³	9,350	9,790	10,241	10,923
77m ³	9,471	9,911	10,362	11,044
78m ³	9,592	10,032	10,483	11,165
79m ³	9,713	10,153	10,604	11,286
80m ³	9,834	10,274	10,725	11,407



▲水道料金早見表▲
(霧島市ホームページ)

【例】

口径13mm
使用水量28m³の場合

→ 13mmの列
28m³ の行を確認

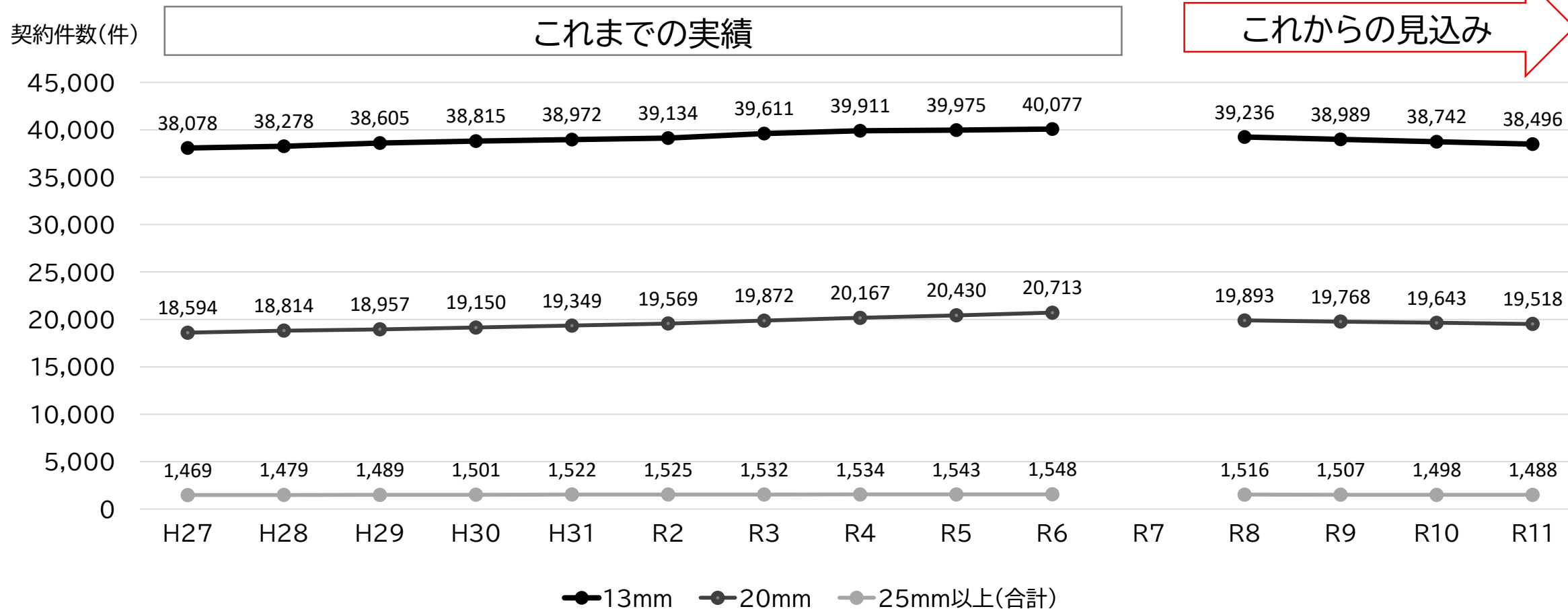
→ 3,553円(税込み)

(参考) 口径別 契約件数の推移(13mm/20mm)

基本料金

契約者数の 97% は 13mm または 20mm のお客さまです。

- 基本料金収入では 89% を占めています。



(参考) 口径別 契約件数の推移(25mm以上)

基本料金

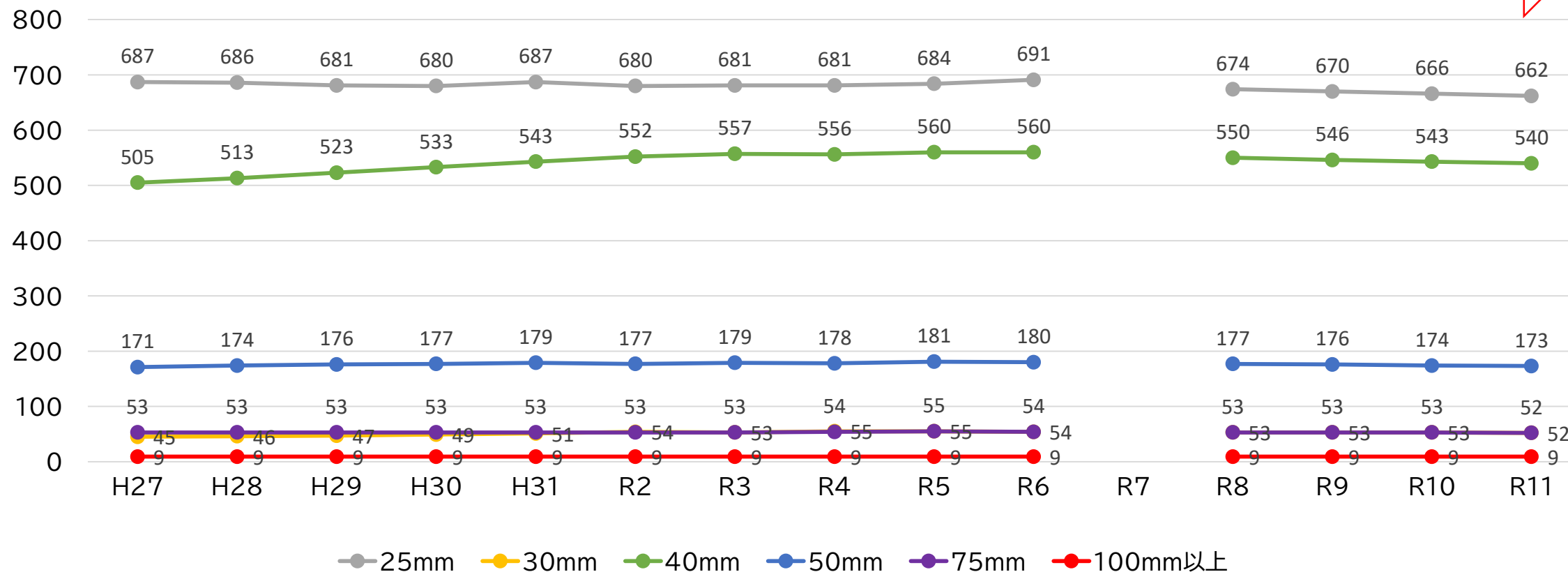
契約者数の 3% は 25mm 以上のお客さまで。

- 基本料金収入では 11% を占めています。

契約件数(件)

これまでの実績

これからの見込み

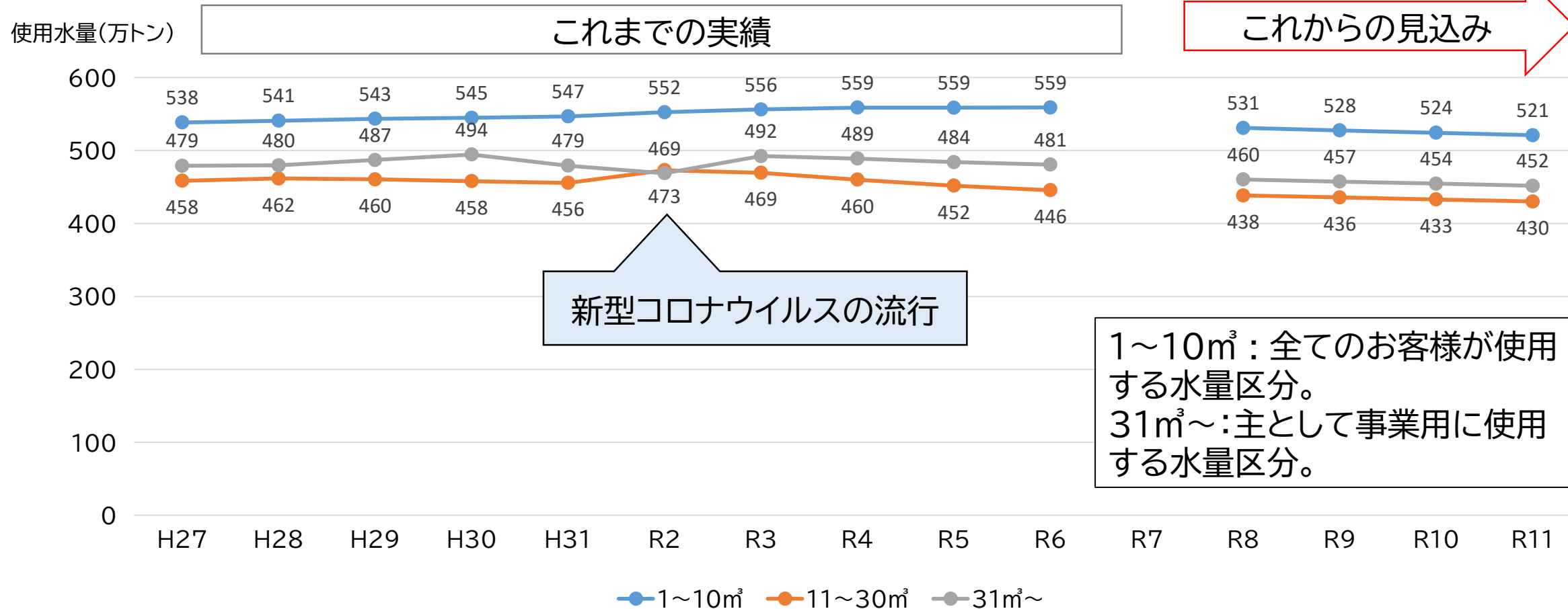


(参考) 水量区分別 使用水量の推移

従量料金

全ての区分で、満遍なくご使用いただいています。

- 従量料金収入では「1～10m³」が32%、「11～30m³」が32%、「31m³～」が36%です。



2. 水道料金の見直し



2. 水道料金の見直し

① 前回の振り返り

- 料金算定期間(令和8～11年度)の総括原価を検討しました。
- 経営努力策として「新たな収入確保対策・支出削減対策」の案を共有しました。

② 総括原価の確定

- 「新たな収入確保対策・支出削減対策」に基づく効率化目標額をお示しします。
- 効率化目標額を反映した、料金算定期間(令和8～11年度)中の総括原価と平均改定率をお示しします。

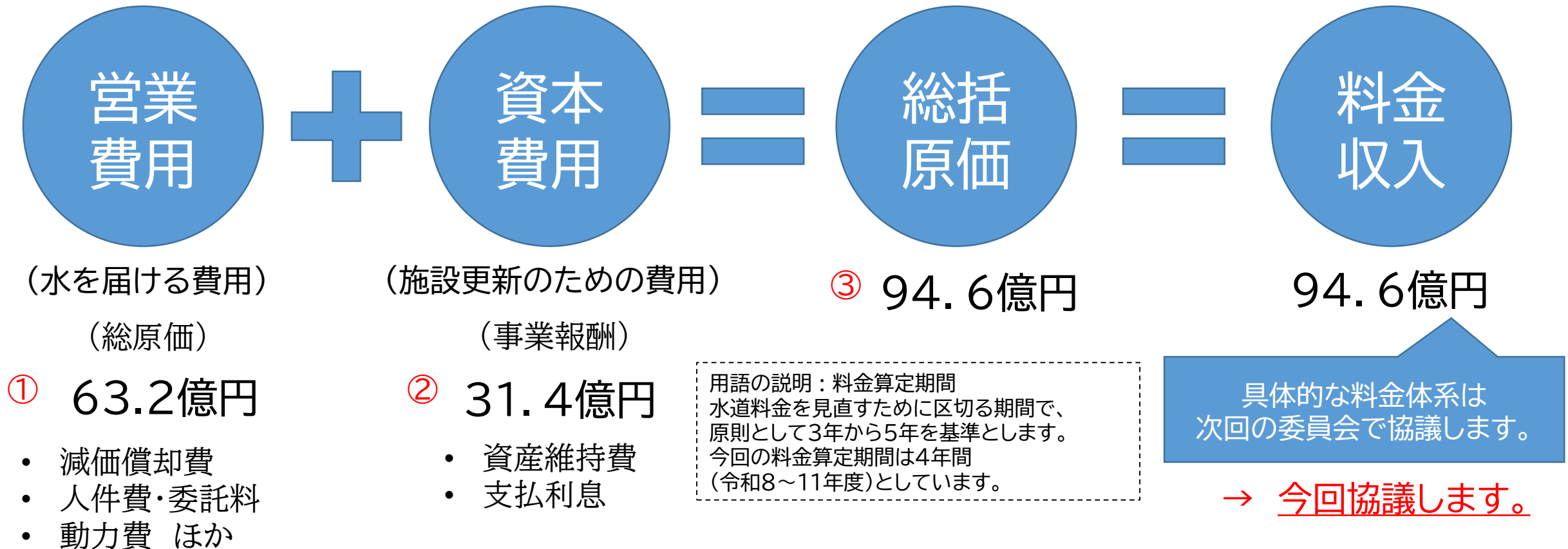
③ 改定後の料金表

- 総括原価を、基本料金と従量料金にどのように振り分けるかをご説明します。
- 改定後の料金表をお示しします。

2. 水道料金の見直し ① 前回の振り返り(1/2)

前回資料(再共有)：料金算定期間※(令和8～11年度)の総括原価を検討しました。

- 総括原価は、営業費用と資本費用の合計です。総括原価と料金収入が釣り合うように水道料金を設定します。



2. 水道料金の見直し ① 前回の振り返り(2/2)

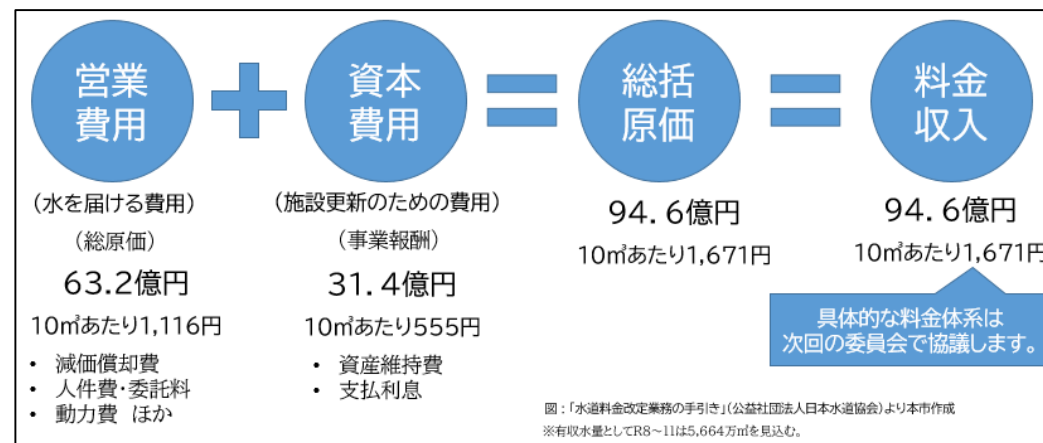
前回資料(再共有)：「新たな収入確保対策・支出削減対策」を策定します。

- 水道料金の低廉化を図るため、経営効率化に向けた最大限の努力を行います。
- 料金算定期間(令和8～11年度)に実行可能な経営努力策として、「新たな収入確保対策・支出削減対策」を策定します。 → **令和7年11月に策定しました。**
- 「新たな収入確保対策・支出削減対策」に基づく効率化目標額を、総括原価(営業費用と資本費用)に反映し、次回の委員会でお示しします。 → **今回お示しします。**

① 販売 ・マスコットキャラクター「すいどん」の活用を検討	② 資産等の売却 ・不要な土地などの売却を検討	③ 広告活用 ・マンホール蓋広告の活用を検討(下水道事業) ・公用車広告のさらなる活用を検討
④ 寄附等 ・企業版ふるさと納税の活用を検討	⑤ 資金活用 ・定期預金のさらなる活用を実施	⑥ 補助金活用 ・活用可能な補助金の継続的調査を実施 ・補助要件緩和に向けた国への積極的な働きかけを実施
⑦ 既存収入の見直し ・下水道事業に各種手数料の導入を検討(下水道事業) ・証明発行手数料の見直しを検討 ・水質化の定額(下水道事業)		

① 経常経費の削減 ・公金振込手数料の削減 ・支払件数削減、指定金融機関口座の利用 ・応同一律価格へのまとめ払い(名寄せ)や支払日の集約等を検討 ・固定経費の見直し ・施設維持管理業務、保守契約等を長期継続契約的に ・消防器の一括購入 ・一般会計の方式に参加 ・ペーパーレス化の推進 ・企業債利息の削減 ・金利方式(固定金利→利率見直し、償還方法(元利均等→元金均等)の再検討	② 事業内容の検討・見直し ・施設の統廃合、配水区域の再編 ・事業施設の統廃合により効率化を図るとともに、長寿的な配水区域の再編について検討 ・事業の優先順位付け ・必要に応じて事業を後年度にスライドさせるなど、優先順位を再検討(着手見込みのある事業から、実施設計委託を実施するなど)	③ 民間活力の活用 ・官民連携による更新・維持管理 ・施設の更新・維持管理において、ウーラーPDP、包括的民間委託、指定管理者制度の導入を検討 ・設計・施工の一括発注方式を導入し、多様な入札、契約方法を実現するとともに、工事設計事務の効率化を図ることを検討	④ AI等新技術の活用 ・人工衛星、AI等を活用した漏水調査、管路劣化調査の実施 ・高性能機器による省エネ化 ・最先端事例等を参考 ・スマートメーター設置による自動検針 ・お客さまサービスの向上や業務の効率化 ・料金支払い等にシステム・アプリ等の導入 ・お客さまの利便性向上や窓口業務の軽減 ・検針票・納付書の印刷廃止廃止を検討
---	---	--	---

反映



(参考) 前回の委員会での主な質疑・意見

委員からの質疑・意見	事務局の回答
(水道事業と簡易水道事業の統合について)引き続き調査・確認を進め、メリットが大きい場合は積極的に検討してほしい。	-
減価償却と内部留保の関係について、減価償却による内部留保に加え、資産維持のための追加内部留保(資本費用)も必要という理解でよいのか。	そのとおりである。減価償却で内部留保は形成されるが、物価上昇、耐震性確保、機能向上の必要により更新費が増大している。施設の更新費用を賄うため、資本費用として対象資産額の3%相当の資産維持費をお願いする提案である。
将来予想される人件費の高騰についても想定しておいたほうがよい。	-
霧島市は湧水が豊富であり、企業誘致や移住促進に活用できる強みである。PR のための具体的施策を、新たな収入拡大策として検討してはどうか。	収入拡大策の具体化に向け、他部局とも連携して検討する。
水源涵養林への企業スポンサード(ネーミングライツ等)で資金を得る事例がある。事例研究をしてはどうか。	-
霧島の「おいしい水」のブランド力を活かし、ネーミングライツや広告と連動した取り組みの検討をしてはどうか。	-
4年後にも水道料金を再検討する方針は、市民に周知したほうがよい。	そのように広報を行っていく。

(参考)「収入確保及び支出削減の取組方針」の策定

収入確保及び支出削減の取組方針

令和7年11月
霧島市上下水道部

1 目的

これからの上・下水道事業は、人口減少をはじめとする人口構造や社会構造の変化に加え、料金・使用料収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新需要の増大、さらには近年各地で発生している地震などの自然災害への対応が求められています。

このような状況においても、安心・安全なサービス水準を維持しつつ、健全かつ安定的な事業運営を持続していくためには、新たな収入の確保及び支出の削減に取り組む必要があります。

以上を踏まえ、本方針を上・下水道事業における収入確保及び支出削減の取組方針として定めるものです。

なお、収入確保及び支出削減に関する具体的な取組については、従来の枠組みにとらわれない柔軟な発想で推進し、実施の可能性や効果を十分に検討したうえで、順次実行します。

2 具体的な取組内容(抜粋)

(1) 新たな収入確保対策

② 広告活用による収入確保

● 水源涵養林のネーミングライツの導入

⑤ 霧島の「おいしい水」のブランド力を生かした収入確保

● 市長部局と連携した企業誘致や移住促進の取組



2. 水道料金の見直し ② 総括原価の確定

料金算定期間(令和8～11年度)中の総括原価を **93億7,557万6千円** と積算しました。

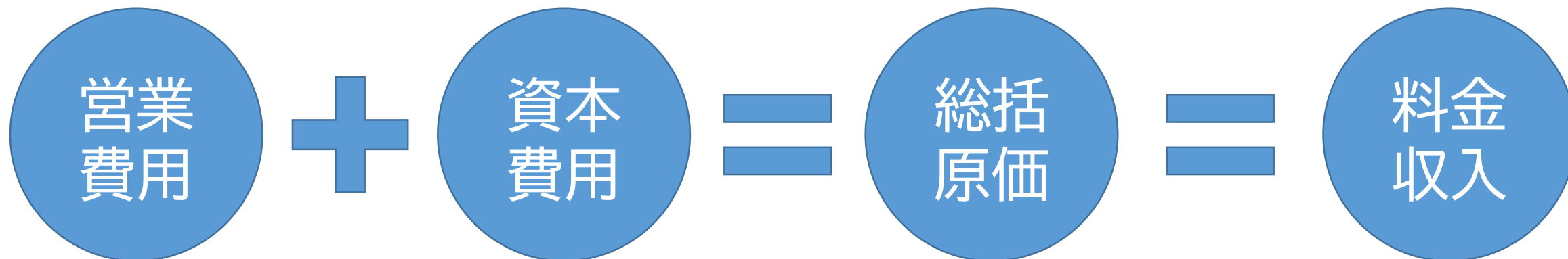
(単位:千円)

費用				(前回提示額)	効率化目標額の反映額	総括原価
営業費用	維持管理費	原浄水部門費		780,382	0	780,382
		配給水部門費		1,362,665	0	1,362,665
		一般管理 業務部門費	検針・集金関係費	610,385	0	610,385
			量水器関係費	184,523	0	184,523
			その他管理業務費	473,405	-1,336	472,069
			小計	1,268,313	-1,336	1,266,977
		計		3,411,360	-1,336	3,410,024
	減価償却費		3,364,022	0	3,364,022	
	資産減耗費		133,997	0	133,997	
	合計		6,909,379	-1,336	6,908,043	
資本費用	支払利息		350,976	-63,541	287,435	
	資産維持費		2,792,120	0	2,792,120	
	合計		3,143,096	-63,541	3,079,555	
控除項目(給水収益以外の収益)				-589,327	-22,695	-612,022
総計				① 9,463,148	② -87,572	③ 9,375,576

(参考) 前回からの修正内容

「収入確保及び支出削減の取組方針」を策定し、効率化目標額を定めました。

- 総括原価を 8,757万2千円 削減し、水道料金の低廉化に努めました。



(水を届ける費用)

(総原価)

63.0億円

① ~~63.2億円~~

- 減価償却費
- 人件費・委託料
- 動力費 ほか

(施設更新のための費用)

(事業報酬)

30.8億円

② ~~31.4億円~~

- 資産維持費
- 支払利息

総括
原価

93.8億円

③ ~~94.6億円~~

▲8,757万2千円

(参考) 効率化目標額の内訳と主な取組

・ 新たな収入確保対策による効率化目標額

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	計
739万3千円	600万7千円	407万9千円	521万6千円	① 2,269万5千円

※うち営業費用の削減額：2,269万5千円

主な取組

不要な土地等の売却、公用車広告の更なる活用、水源涵養林のネーミングライツ導入、企業版ふるさと納税の活用、定期預金の更なる活用、活用可能な補助金等の継続的調査、証明書発行手数料の見直し

・ 支出削減対策による効率化目標額

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	計
1,357万1千円	1,537万5千円	1,684万4千円	1,908万7千円	② 6,487万7千円

※うち営業費用の削減額：133万6千円

※うち資本費用の削減額：6,354万1千円

主な取組

公金振込手数料の縮減(支払件数の削減、指定金融機関口座の指定 同一債権者に対しての同一日でのまとめ払い(名寄せ)、支払日の集約等)、固定経費の見直し(消火器の一括購入、ペーパーレス化の推進)、企業債支払利息の縮減(借入金利方式の見直し(固定金利方式→利率見直し方式)、償還方法の見直し(元利均等方式→元金均等方式))

(参考) 平均改定率

水道料金の平均改定率は **23.3%** と積算しました。

	今回提示 (効率化目標額反映後)	(参考)霧島市新水道ビ ジョン(改定版)掲載
算定期間	令和8～11年度	令和8～11年度
総括原価(うち営業費用)	62億9,602万1千円	62億600万6千円
総括原価(うち資本費用)	30億7,955万5千円	32億832万9千円
総括原価(合計)	① 93億7,557万6千円	94億1,433万5千円
改定後供給単価	② 165.53円/m ³	166.21円/m ³
改定前供給単価※	③ 134.20円/m ³	133.39円/m ³
平均改定率	23.3%	24.6%

※ 「今回提示額」の改定前供給単価は、水道料金の改定を行わない場合の令和8～11年度の積算額()
「(参考)霧島市新水道ビジョン(改定版)掲載額」の改定前供給単価は、策定時点の直近(令和5年度)の決算値による。

2. 水道料金の見直し ③ 改定後の料金表

基本料金(改定前・改定後)

(税抜き)

口径	13 ^{mm}	20	25	30	40	50	75	100	150	200
基本料金	円									
改定前	490	890	1,300	1,920	3,260	5,400	12,100	21,510	50,030	97,120
改定後	① 620	② 1,150	1,670	2,470	4,210	6,880	③ 15,760	28,290	67,090	121,150

従量料金(改定前・改定後)

(税抜き)

使用水量	1m ³ から10m ³ まで	11m ³ から30m ³ まで	30m ³ を超える部分
従量料金(1m ³ につき)	円		
改定前	85	105	110
改定後	④ 103	⑤ 128	⑥ 134

(参考) 基本料金と従量料金の振り分け

93億7,557万6千円

総括原価

(※用語) 施設利用率
配水能力に対する配水量(平均)の割合



使用水量に関係なく生じる原価
(検針・集金費、水道メーター費)

8億1,533万6千円

水道施設の維持に必要な原価
(固定費)

79億2,694万9千円
(施設利用率※で配分)

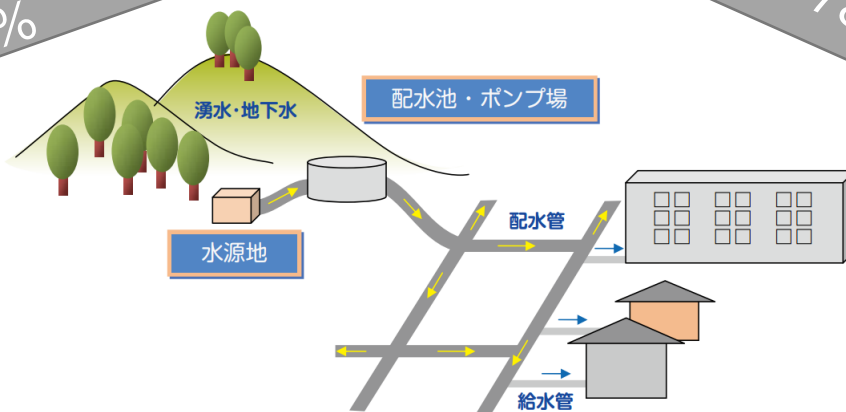
使用水量に応じて生じる原価
(動力費、薬品費)

6億3,329万1千円

基本料金

25億3,795万9千円

21.55%





78.45%

従量料金

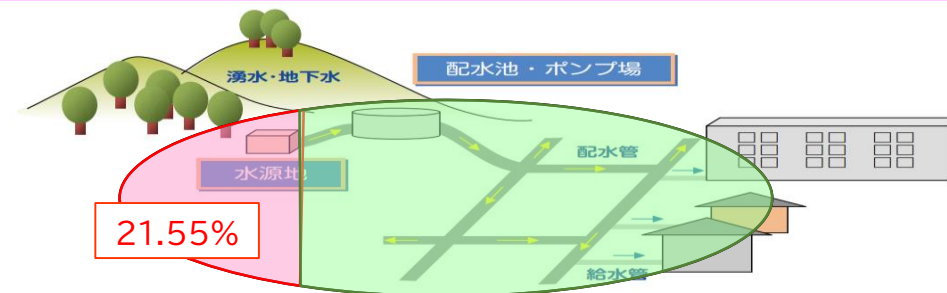
68億3,262万7千円

注：基本料金と従量料金の合計金額(93億7,158万6千円)は、料金体系が1円単位のため、総括原価と一致しない。

(参考) 料金表改定の考え方 - 基本料金

区分	考え方
 検針・集金費	すべてのお客さまに、均等に分配しています。
 水道メーター費	水道メーターの購入価格に応じて、口径別に分配しています。
基本料金に振り分けた固定費 (固定費の21.55%)	水を使うことができる能力(=口径の大きさ)に応じて、口径別に分配しています。



常に利用しているわけではないが、必要なときにいつでも水を供給できるよう備えておくための部分



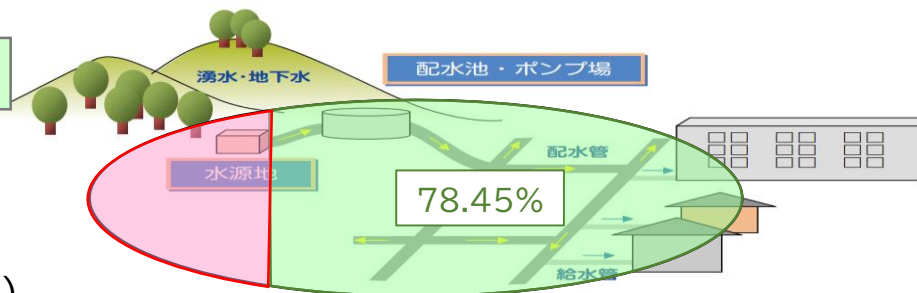
基本料金(改定前・改定後)

口径	13 mm	20	25	30	40	50	75	100	150	200
基本料金	円									
改定前	490	890	1,300	1,920	3,260	5,400	12,100	21,510	50,030	97,120
改定後	620	1,150	1,670	2,470	4,210	6,880	15,760	28,290	67,090	121,150

(参考) 料金表改定の考え方 - 従量料金

区分	考え方
 動力費	<p>原則として、1m³あたり均等に配分することとされています(水道料金算定要領)。</p> <p>本市では、平成22年度以降、生活用水に対する配慮等から、従量料金について逡増制※(1m³～10m³ / 11m³～30m³ / 30m³を超える部分)を採用しています。</p> <p>今回の改定でも、引き続き「逡増制」を採用することとしています。(逡増度は維持)</p>
 薬品費	
従量料金に振り分けた固定費 (固定費の78.45%)	

常に利用しており、実際に水を供給するために稼働している部分。



従量料金(改定前・改定後)

(税抜き)

使用水量	1m ³ から 10m ³ まで	11m ³ から 30m ³ まで	30m ³ を 超える部分
従量料金(1m ³ につき)	円		
改定前	85	105	110
改定後	② 103	128	① 134

(※用語) 逡増制(ていぞうせい)

使用水量が多くなるほど料金が段階的に高くなる仕組みのこと。

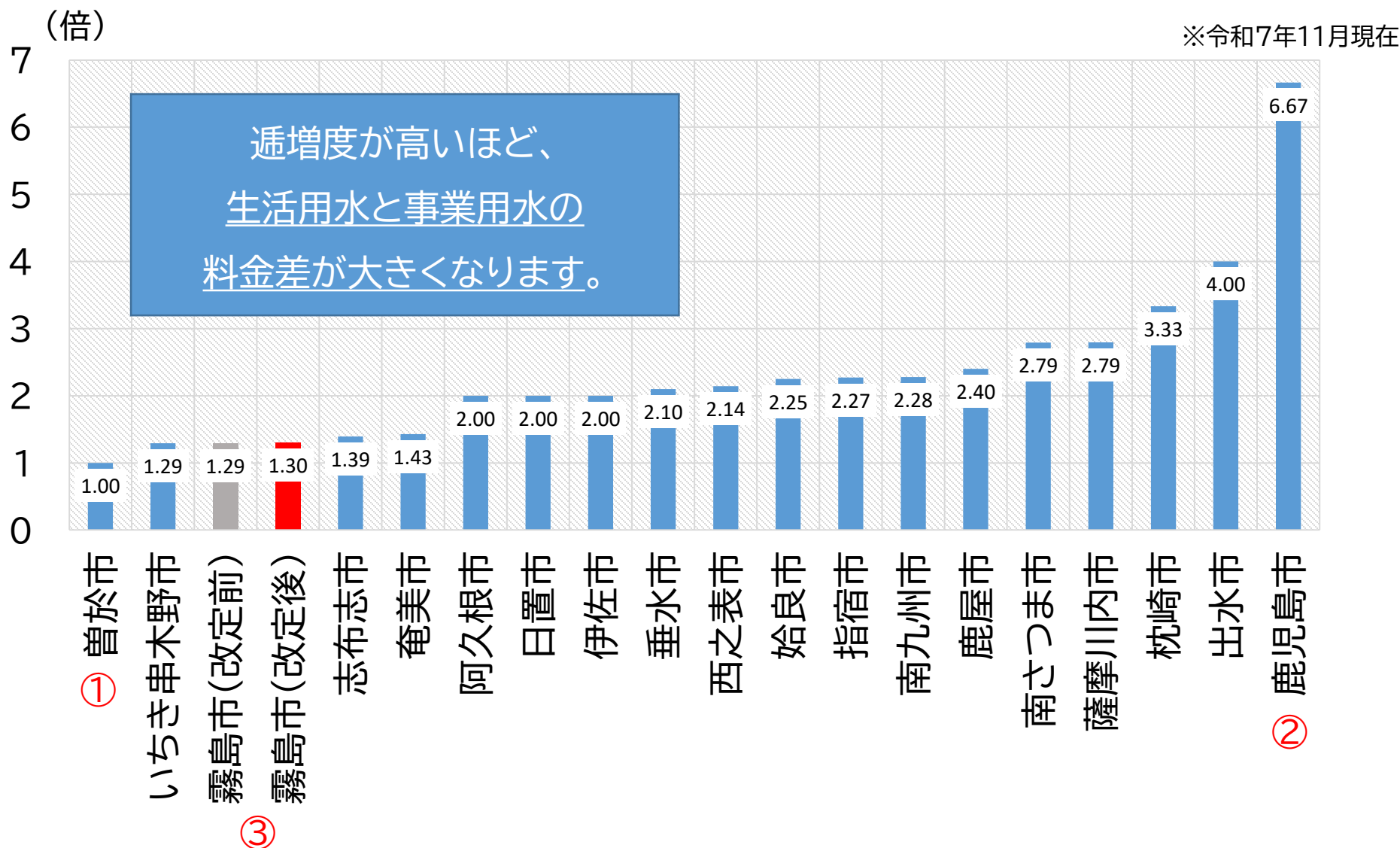
改定後の逡増度 = $134 \div 103 \div 1.30$ 倍

改定前の逡増度 = $110 \div 85 \div 1.29$ 倍

(参考) 料金表改定の考え方 – 逓増度の19市比較

従量料金

- 逓増度(ていぞうど)は、従量料金の「最高単価」を「最低単価」で割った値です。



(参考) 主な口径・水量における料金値上げ率

- 「水道料金算定要領」に基づきながら、多くのお客さまがなるべく均等な改定率になるよう調整しました。
(平均改定率:23.3%)



① (目安) 1～2人世帯

口径13mm・水量10m³の場合

説明	金額・割合
改定前の水道料金	1,474円
改定後の水道料金	1,815円
改定による差額	341円
料金改定率	23.1%



② (目安) 3～4人世帯

口径20mm・水量20m³の場合

説明	金額・割合
改定前の水道料金	3,069円
改定後の水道料金	3,806円
改定による差額	737円
料金改定率	24.0%



③ (目安) 工場・病院・宿泊業など

口径75mm・水量1,000m³の場合

説明	金額・割合
改定前の水道料金	133,925円
改定後の水道料金	164,263円
改定による差額	30,338円
料金改定率	22.7%

(全国平均[令和6年度]:1,623.7円)

2. 水道料金の見直し - まとめ

総括原価
 平均改定率

項目	金額、単価、改定率など	(税抜き)
総括原価(合計)	93億7,557万6千円 (経営努力分 8,757万2千円 を削減)	
改定後供給単価	165.53円/m ³	
平均改定率		23.3%

基本料金(改定前・改定後)

(税抜き)

口径	13 mm	20	25	30	40	50	75	100	150	200
基本料金 改定前	円 490	890	1,300	1,920	3,260	5,400	12,100	21,510	50,030	97,120
		26.5%	29.2%	28.5%	28.6%	29.1%	27.4%	30.2%	31.5%	34.1%
改定後	620	1,150	1,670	2,470	4,210	6,880	15,760	28,290	67,090	121,150
		24.7%								

従量料金(改定前・改定後)

(税抜き)

使用水量	1m ³ から 10m ³ まで	11m ³ から 30m ³ まで	30m ³ を 超える部分
従量料金(1m ³ につき) 改定前	円 85	105	110
		21.2%	21.9%
改定後	103	128	134
		21.8%	



3. 水道利用者への広報・広聴のあり方



3. 水道利用者への広報・広聴のあり方（1/2）

水道料金を改定する場合には、水道使用者様に対して次の方法等により、丁寧に説明を行います。

1 周知方法

市ホームページ、広報きりしま、公式X、公式フェイスブック、チラシ(または検針票)、FMきりしま

※ 公式XやFaceBook、チラシ(または検針票)は、水道料金が改定されることを簡潔に分かりやすく作成し、QRコードで市ホームページへ誘導

(参考)近年の各事業体の周知方法について

自治体名(事業会計名／料金改定)	広報媒体
霧島市(下水道／令和5年4月)	市ホームページ、広報誌、チラシ(回覧板で配付)、FMきりしま
鹿屋市(下水道／令和6年5月)	市ホームページ、広報誌、チラシ(使用者へ郵送)
鹿屋市(下水道／令和7年5月)	市ホームページ、広報誌、チラシ(検針時に配付)
出水市(水道／令和6年10月)	市ホームページ、広報誌、公式LINE、検針票
日置市(水道／令和5年4月)	市ホームページ、広報誌、公民館長会議
垂水市(水道／令和7年4月)	市ホームページ、広報誌、チラシ(回覧板で配付)
都城市(水道／令和8年4月)	市ホームページ、広報誌、公式SNS、検針票、ラジオ、ケーブルテレビ

3. 水道利用者への広報・広聴のあり方（2/2）

2 広報の内容

改定の必要性（耐震化や老朽対策の必要性、独立採算制、持続可能な経営基盤の確立など）／改定後の料金体系／一般家庭への影響額／経営状況／事業計画及び財政計画／新たな収入確保対策及び支出削減対策とその効果額／など

3 周知の期間

半年程度の期間を確保

4 その他

今後とも、水道事業のPRや経営状況などについて、積極的に公開してまいります。

